

心理療法の臨床データからAIセラピストを開発する

国際統合睡眠医科学研究機構 准教授 中島 俊

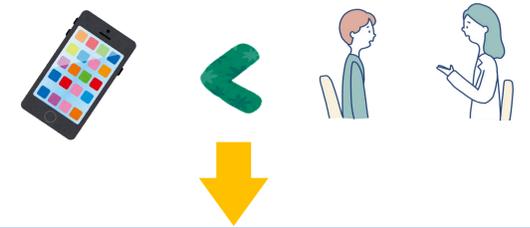
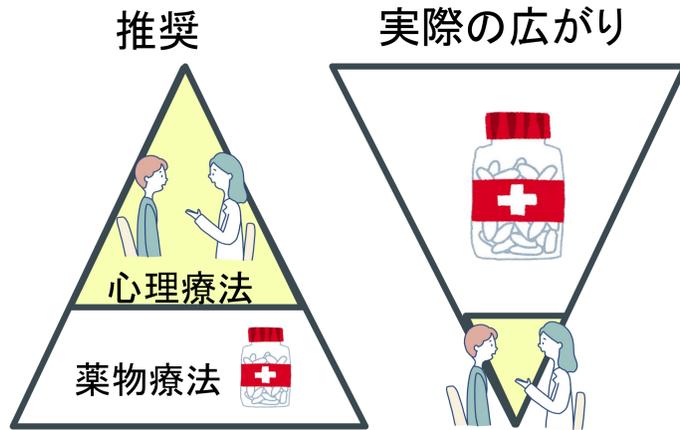
メンタルヘルスにおいて心理療法のニーズは高まる一方、必要な方に届けられていないことが問題となっています。本研究では臨床心理学的スキルを学習したAIセラピストの開発を行い、実装を目指します。

睡眠医療の現状と課題

不眠症治療の国際的なガイドラインでは治療第一選択は心理療法であるが… 実際は睡眠薬が多い。

治療用アプリも開発されているが、有効性は人には全く及ばない。

- 不眠症**
- ・高い有病率(10%)
 - ・自殺の危険因子
 - ・各種疾患の発症素因



世界的にセラピスト不足が問題に
世界各国で人によるセラピスト養成に向けた取り組みがはじまっている。

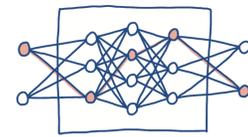
2034

少子高齢化

対人援助職のニーズが高まる一方で人による支援は今以上に届かなくなる。

人不足を補いつつ、人と並ぶ強度のケアが不可欠

遠隔心理療法研究で
取得したデータを基に
AIセラピストを作成する



臨床試験実施番号 jRCT1030210575

現在、取り組んでいるAIセラピストの開発

臨床知の形式知

コミュニケーション・データ

大規模言語モデル

AIエージェントの人間らしさ

検査の解釈

RAG

出力

AIセラピスト

仕事でミスが続いて...
明日も失敗したらと
考えると眠れなくて...

先週から眠れていない
ようですね。眠れないと余
計ミスも増えますよね。

そうなんです！

患者さん